

術後の痛みや吐き気に特化したチームが患者さんに介入することで得られる成果に関する調査についてのお知らせ

術後の痛みや吐き気の遷延は早期離床の妨げとなり、術後合併症の発症率の増加や在院日数の延長に繋がることが指摘されています。

小倉記念病院手術室では麻酔科医師、手術室看護師、薬剤師が痛みや吐き気に特化したチームを立ち上げ、手術から病棟に帰られた患者さんの痛みや吐き気を緩和していくという取り組みを行っており、症状や投薬状況等を過去の診療録より調べることにしました。

この調査により適正な痛みや吐き気の評価と適切な投薬が出来ているのかということを一明らかにし、今後の術後看護を行う上で役立てたいと思っております。

【研究の対象・期間・内容】

小倉記念病院において2022年4月から2023年3月の間に婦人科に入院し、開腹・腹腔鏡手術を受けた患者さんを対象としています。調査対象期間内に入院した患者さんの診療録から、痛みのスコアや術後悪心嘔吐に対する対応状況の情報を得、改善の有無や離床までの期間、入院期間等への関連を統計学的に解析を行います。

対象者となることを希望されない方は、下記連絡先へご連絡下さい。

【個人情報の管理について】

個人情報漏洩を防ぐため、個人を特定できる情報を削除し、データの数値化、データファイルの暗号化など厳格な対策をとり、第三者が個人情報を閲覧することができないようにしております。また、本研究の結果の公表(学会や論文等)の際には、個人が特定できる情報は一切含まれません。

【連絡・問い合わせ先】

小倉記念病院

手術室 看護師 松尾 和馬

〒802-8555

北九州市小倉北区浅野三丁目2番1号

電話 093-511-2000(代)

